

標津町・（一社）南知床標津町観光協会

北海道標津町の概要・位置

世界自然遺産知床の南に位置する標津町（しべつ）は、水産業と酪農業を基幹とする生産の町です。

古くから鮭を中心とする漁業により開けたまちである一方、明治時代後半から大正時代にかけて、入植者により開拓されました。

「シベツ」の語源は、アイヌ語で「鮭のいるところ、大川または本流」の意味があります。



■人　口　4,642人（令和7年8月1日現在）

■世帯数　2,376世帯

■平成19年（2007年）

「日本で最も美しい村」連合に加盟

■令和２年（2020年）

『「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程～』が日本遺産に認定（※１市３町で連名申請）

■中標津空港から車で３０分程度
■体験から学ぶ**体験型観光を推進**
■「鮭の聖地」源流のまち **関係人口を創出**

■標津町観光ポータルサイト
「けさのさけ」
総合的な観光の情報発信

標津町での教育旅行の受入目的

地域と共に学び、持続可能な社会の創り手へ

・標津町の教育旅行では、主体的に学び、多様な他者と対話をしながら当事者意識を持ち、問題を発見・解決できる持続可能な社会の創り手を育てることを目指しています。

・「知る（課題発見）→体験する（対話・協働）→考える（解決策の提案）」という学習サイクルを通じ生徒たちは社会への理解を深め、創造的な思考力を養うことができると考えています。

・標津町ならではの体験プログラムでは、鮭を中心とした食文化に触れ、新巻鮭やいくら作り、郷土料理の味わいを楽しむことができます。また、豊かな自然や歴史を学ぶことで、生徒たちの知識と感性をより豊かに育むことができます。

標津町での教育旅行等の受入実績

年　　度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R２ 年度	R３ 年度	R４ 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
受入団体	26団体	25団体	34団体	33団体	12団体	27団体	56団体	37団体	43団体	48団体
受入人数	1,099人	973人	1,082人	2,523人	197人	577人	2,727人	2,694人	2,298人	2,555人

標津町は体験型観光を推進しており、平成１３年度には各種体験のインストラクターとして町民有志で構成された「標津町観光ガイド協会」が設立されました。同年に教育旅行のコーディネーターとして「標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会」が設立され、平成１３年度から教育旅行等の受け入れがはじまりました。また、全国ほんもの体験ネットワーク・全国教育民泊協会に加入し、定期的にガイド養成研修会の開催、フォーラムの参加、アドバイザーの招聘・受入態勢の見直しを実施しています。

令和３年度には標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会は標津町観光協会と統合し、新たに「南知床標津町観光協会」となりました。令和６年６月に一般社団法人化し、教育旅行等の受け入れを引き続き行っております。

近年の受入人数は2,500人程度、受入時期は３月末から10月末頃の期間が多くあります。

※令和元年度は北方領土を目で見る運動補助金の制度改正により増加傾向（中学生・高校生が対象）

※令和２～３年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年より受入が減少

標津町の体験施設地図



体験施設など

A 標津町役場
〒086-1632
北海道標津郡標津町北2条西1丁目
☎0153-82-2131

B 標津町国民健康保険標津病院
〒086-1631
北海道標津郡標津町北1条西5丁目
☎0153-82-2111

C 標津サーモン科学館
〒086-1631
北海道標津郡標津町北1条西6丁目
☎0153-82-1141

D 標津町生涯学習センター あすぱる
〒086-1655
標津町南1条西5丁目
☎0153-82-2900

E 標津町文化ホール
〒086-1651
標津町南1条西2丁目

F 北方領土館
〒0086-1632
標津町北2条東1丁目
☎0153-82-2422

G 標津番屋（海の公園）
〒086-1631
北海道標津郡標津町北1条東1丁目
☎0153-82-3211

H しべつ「海の公園」キャンプ場
〒086-1653
北海道標津郡標津町南3条東1丁目
☎0153-82-2265

I ポー川自然史跡公園
〒086-1601
北海道標津郡標津町字伊茶仁2784
☎0153-82-3674

モデルコース【１泊２日】※６０名

日　程	午　前	午　後	宿　泊
１日目	羽田空港 出　　発 →	中標津空港 到　　着 → サーモン 科学館見学 → 北方領土 講　　話 →	標津町内 分　　宿 ※根室管内分宿
２日目 （Ａ班）	北方領土館 見　　学 → 投げ釣り体験 →	昼食 → カヌー体験 又は遺跡群ガ イドウォーク →	他市町村に移動
２日目 （Ｂ班）	カヌー体験 又は遺跡群ガ イドウォーク → 北方領土館 見　　学 →	昼食 → 投げ釣り体験 →	他市町村に移動

＜補足事項＞　※実施時期については、９月上旬～１０月下旬想定。　１日目と２日目を標津町に滞在し、２日目の夕方から他市町村に移動する場合のモデルコースです。

このコースでは、１日目に自然環境（鮭）学習（サーモン科学館）と北方領土学習（講話）を学びます。

２日目は１日目に学習した内容（自然環境・北方領土学習）を地元ガイドさんと一緒に体験を通じて学ぶことができます。

なお、本モデルコースを経路にすることで「北方領土を目で見る運動」補助金の交付要件に該当します。

サーモン科学館見学





サケ科魚類展示種類数が国内No.1のサケの水族館。海水大水槽・魚道水槽・映像室・
チョウザメ「指パク」体験コーナー・鮭の聖地エキシビションルーム・展望室がオススメ

＜開館時期＞　２月１日～１１月３０日　９時３０分～１７時まで（入館受付は１６時３０分まで）

＜受入人数＞　館内レクチャーあり：４０名×２班（映像鑑賞班(40名)と館内見学班(40名)と入れ替え）

館内レクチャーなし：４０名以上の場合は１０分前後ずらして入館していただきます

＜所要時間＞　１時間前後　　＜持ち物等＞　特になし

＜住　　所＞　〒086-1631　北海道標津郡標津町北1条西6丁目1-1

北方領土学習【元島民の講話】





北方領土の歴史や産業について学び、北方領土問題への関心を高めることを目的に実施されています。引き揚げ当時の体験や現地交流・返還運動など元島民の生の経験を聞くことは、北方領土について深く知ることのできる貴重な体験となります。

＜実施時期＞　通年　　＜受入人数＞２００名まで

＜所要時間＞　１時間程度　　＜持ち物等＞筆記用具等（必要な場合のみ）

＜場　　所＞　１）標津町生涯学習センター あすぱる（〒086-1651 北海道標津郡標津町南1条西5丁目5-3）

２）北方領土館（〒086-1652 北海道標津郡標津町北2条東1丁目1-14）　※３０名まで

知ろう、考えよう、語り継ごう

北方領土平和学習ノート



北方領土と千島桜（チシマザクラ）

けさのさけ
北海道標津町
鮭の聖地ー万年の源流

学校名		氏名	
年	組	番	

（学習期間　　年　　月～）

学習の趣旨と目標

ようこそ、北方領土平和学習ノートへ！

この学習ノートは、北方領土隣接エリアへ来られる皆さんが、北方領土について正しい知識を身につけ、そして、標津町の文化にも触れていただけるように作成しました。

北方領土は我が国固有の領土ですが、自由に訪れることができません。地理・歴史、返還運動について学び、北方領土問題をみんなで知って考え、学びを多くの方に伝えましょう。

（公社）千島歯舞諸島居住者連盟
標津支部 メッセージ動画

このノートの使い方

ノートにある二次元バーコードを読み取ると、参考になる画像や動画などを見ることができます。それぞれのテーマについて、より学びを深めるために活用して下さい。また、ノートにある気づきメモに自分なりの気づきや発見を自由に書き込むことで、あなたの学習が記録できます。一つのテーマが終わるごとに、学びが深まることでしょう。考えをどんどん記入し、あなただけのノートを完成させましょう。

もくじ

1 知っていますか？北方領土・・・P1
2 北方領土問題の解決に向けて・・P3
3 北方領土学習講話　前編・・・・P5
4 北方領土学習講話　後編・・・・P7
5 元島民の思いと平和・・・・・・P9
6 鮭の聖地源流のまち標津・・・・P11
7 学習のまとめ・・・・・・・・・・P13
思い出のページ・・・・・・・・・P15



ラッコ

表紙　**北方領土と千島桜（チシマザクラ）**：かつて北方領土に住んでいた人々に、「ふるさとの花」として親しまれている千島桜は、北方領土を未来につなぐふるさとの花として北海道遺産にも認定されています。

©けさのさけ

標津町への教育旅行 学習補助教材「北方領土平和学習ノート（生徒・教師用）」

昼食の提供


あすぱる


標津番屋

地元産の海鮮食材をふんだんに使ったメニューを中心にお弁当や・丼弁当
鮭のちゃんちゃん焼き・ジンギスカンのバーベキューをご用意しています。

＜昼食場所＞　１）標津町生涯学習センター あすぱる（〒086-1651 北海道標津郡標津町南1条西5丁目5-3）
２）標津番屋（〒086-1631　北海道標津郡標津町北1条東1丁目28番地）※バーベキュー可

＜受入時期＞　１）通年　　＜受入人数＞　１）２００名まで
２）５月上旬～１０月末　　２）１２０名まで

※食事前または食事中に歓迎のご挨拶と食事メニューの内容について、説明をさせていただきます
※昼食メニューの成分表がありますので、アレルギー対応についてはお気軽にご相談ください

ポー川史跡自然公園 標津遺跡群ガイドウォーク





広大な自然と一万年の歴史を堪能！手つかずの自然と遺跡をガイドの解説とともに体感できるプログラム。
「標津湿原」「標津遺跡群」の散策を通して、当時の暮らしの跡を間近でご覧いただけます。

＜実施時期＞　５月上旬～１１月上旬　　＜受入人数＞　５０名まで

＜所要時間＞　１時間３０分～２時間　　＜持ち物等＞　動きやすい服装

＜体験場所＞　ポー川史跡自然公園（〒086-1602　北海道標津郡標津町字伊茶仁2784番地）

原始河川ポー川カヌー体験





手つかずの原始河川ポー川でカヌーを体験できます。ポー川は一万年以上の歴史があり、古くからの遺跡もたくさん眠っています。そんな歴史を感じられる自然の中をカヌーで巡ります。

＜実施時期＞　５月上旬～１１月上旬　　＜受入人数＞　２０名まで

＜所要時間＞　１時間３０分～２時間　　＜持ち物等＞　濡れてもいい服装

＜体験場所＞　ポー川史跡自然公園（〒086-1602　北海道標津郡標津町字伊茶仁2784番地）

標津町ホテル分宿



標津川温泉ぷるけの館ホテル川畑



温泉ホテル喜楽来

地元食材を生かしたホテル食。２つのホテルでの分宿で80名程度の宿泊が可能 ＜通年＞

■標津川温泉ぷるけの館ホテル川畑　受入可能人数：50名程度

市街地中心部に位置し、地元の食材を生かした料理と温かい接客が特徴、温泉付き老舗ホテルです。

■温泉ホテル　喜楽来　受入可能人数：30名程度

大浴場を備えており、体験学習や移動で疲れた生徒の疲れをしっかり癒やせる施設です。

受入プログラムの事例（目的別）

①北方領土学習（講話・施設見学）
②昼食（中・大規模 場所：標津番屋・あすぱる）
③体験プログラム（体験選択制）※荒天時プログラム含む
④オーダーメイド体験（例：活カレイ捌き）
⑤宿泊拠点型（宿泊のみ１泊～２泊、管内宿泊施設）
⑥複合型（体験・宿泊・昼食）
⑦農山漁村生活体験・民泊型
⑧フィールドワーク・ヒアリング（調査学習）

■旅行手配・様々な希望に応じて対応
■現地コーディネーター配置、旅程管理・教育効果をサポート

まとめ

■日本遺産「鮭の聖地」の物語
～根室海峡一万年の道程～学習
・地域の歴史や文化に対する理解と関心
・興味・関心分野を掘り下げる

■北方領土の平和学習
・元島民の講話と北方領土館見学
・補助教材（事前学習ノート）活用

■標津町での昼食・宿泊・体験
・滞在型のプログラム

■その他、SDGsプログラム造成、フィールドワーク・ヒアリングの受入 関係人口形成・社会学習の機会創出

■標津町観光ポータルサイト 教育旅行情報発信
「けさのさけ」URL：https://visitshibetsu.com/education/

【体験教育旅行】紹介動画
ようこそ「鮭の聖地」源流のまち



https://www.youtube.com/playlist?list=PLQoH0sT6GvHw&si=qJsjnCCjlkYAP11t



【教育旅行や団体旅行等の問い合わせ窓口について】

■受入等に関する問い合わせ先 → (一社) **南知床標津町観光協会（TEL：0153-85-7226）**

■補助金に関する問い合わせ先 → **標津町役場　商工観光課（TEL：0153-85-7246）**